

緑丘中学校

学校だより

令和6年度 3月号

〒927-1213

珠洲市野々江町6の部1番地

Tel 82-0250 Fax 82-3199



## 「子の挑戦・成長、大人の共感・支え」

校長 小畠 康志

3月となり厳しかった寒さもやわらぎ、季節は卒業の時期を迎えました。校内には式歌の練習の歌声が流れてきます。それぞれの思いを込めた歌声が響き、仕上がってきている様子がうかがえます。3年生には、これまでお世話になった方々への感謝の心を胸に秘め、新しい世界へ羽ばたいて行ってほしいと思います。また、1・2年生には上級生となる自覚と態度を確かなものとするためにも、凡事徹底を意識して残り1ヶ月を大切に過ごして行ってほしいと思います。

さて、1年間はあっという間で、4月の始業式、入学式がついこの前のように感じられます。下水が使えない、体育館避難所との共存、避難物資が廊下に並べてある風景など、制限のあった生活の中でも、野球部の18年ぶりの県大会優勝や相撲部や陸上部の県大会での優勝や入賞、女子バスケットボール部のベスト8など多くの活躍がありました。生徒たちの、「若竹」のような心身ともにすくすくと成長する姿に、改めて驚きとうれしさを感じています。これまでの「できたこと」「達成したこと」はもちろんですが、「思うようにできなかったこと」「悩んだこと」「失敗したこと」など、一人一人違ってはいますが、それぞれが成長するための「大切な節目」として必要なものだったのではないのでしょうか。一人で解決できたり、周囲の助けを借りたりと、登り方は違っても、最後は自分の足で乗り越えてきたことで、成長できたのだと思います。

私たちは、子どもたちが難しい局面に立ったとき、つい先読みしてその困難をさげさせたり、取り除いたりしてしまいがちです。しかし、子どもの成長には、困難に正面から向き合い、それを乗り越える経験がとても大切なことであり、その経験が自信となり成長につながっていくことを、改めて認識することが必要であると感じます。

私たち大人は、がまん強く「寄り添い」「共感」し「支える」こと、「子どもたちの力」を信じ「待つ」ことを大切にしていかなければなりません。復興に向けて歩んでいる地域として、また、社会の変化が激しい現代であるからこそ、子どもたちが「自己決定力」や「協働して最適解を導く力」を身に付けていく応援をする必要があるのではないのでしょうか。

学校では、この一年間を振り返りながら、今年度の総点検と来年度に向けた準備をしています。子どもたちも、学習面や生活面について振り返り、次年度の準備を行っています。子どもたちには、この1年間伝えてきた大切にしてほしいこと、「命を大切にする」「生きる力を養う」「粘り強くチャレンジする」の3つを、自分の置かれている状況やその時々に応じて、自分なりに解釈し、「自分らしく」成長していくために活用して行ってほしいと思います。そのために、教職員全員で生徒一人一人が次年度の目標を明確に持ち、それに向かっての努力を重ね、成長できるよう取り組んでまいります。

末筆ながら、令和6年度も、保護者・地域の皆様からはたくさんのご支援・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。来年度も緑丘中学校生徒のために、何卒よろしくお願いいたします。

## ◇計算力コンテストの結果

1月22日(水)、全校一斉で「計算力コンテスト」を行いました。各学年に必要な基本的な計算力を確かめるテストです。この日を目指して、一生懸命にがんばってきたことと思います。これを機会に計算の基礎・基本をしっかりと身につけてほしいと思います。

### <3年生>

河原 秀虎 瀬法司 永和 出村 莉瑚 天徳寺 葵生 西 ことの 坂東 完  
平野 雄大 前根 舜也 浅井 和人 大貫 加恵 岡田 朋大 梶 風沙 灰外 吏弥  
濱田 真桜 前 颯乃佳 宮下 愛子 森下 結菜 森田 朝日 谷内口 心春  
吉田 絆生 橋本 悠汰



$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

### <2年生>

上田 朱夏 清水 珠里 蓮池 里奈 宮田 陽菜 岡田 法華 川坂 南葵 川端 秀虎  
小高井 希乃香 小町 一嘉 篠原 大智 中川 葵乃 長曾 俊之介 松田 桃珂 藪下 愛未  
岡田 康太

$$a^2 + b^2 = c^2$$

### <1年生>

石田 澄海 今井 瑛次 杉盛 佑葉 角居 夏実 田端 真衣 西 琥太郎  
前根 佑斗 三澤 琴葉 谷内 菜子 和嶋 桃子



## ◇3年生総合的な学習発表会

2月3日(月)に3年間取り組んできた SuZuSoZo(総合的学習)の集大成として3年生が、1・2年生の前で学習発表会を行いました。各グループは、Ⅰ期・Ⅱ期での学習をベースに珠洲の将来や復興に向けた提案を行いました。珠洲遺産創造や若い人を増やす方法、マーケット開催など様々なアイデアが出てきていました。自分たちが提案したことを大人になった君たちが実現していくことになると思います。ぜひ、中学校での学びを将来の珠洲づくりにつなげていってほしいです。



## ◇グラウンドに「合格祈願」

2月10日(月)の朝に校舎の窓からグラウンドを見てみると大きな「合格祈願」の文字が目に入ってきました。金曜日にはなかったもので、土日の間に描いていただいたようです。普通の長靴ではなく、かんじきのようなもので雪を踏み固めて描かれていました。どなたがされたのかわかりませんが、3年生への心温まる応援メッセージをありがとうございます。3年生たちも文字を嬉しそうに眺めたり、歓声をあげたりしていました。





## ◇避難訓練（地震・土砂災害）

2月10日（月）に地震によって土砂災害が発生したことを想定して避難訓練を実施しました。体育館への避難行動となりましたが、どの学年の生徒も素早く静かに行動することができていました。地震災害はいつどこで来るか正確に予測できません。どこにいてもしっかりと備えておくことが大切です。一方で地震から1年経ったとはいえ、まだ不安な気持ちや恐怖心が残っている生徒もいると思います。今後も生徒たちの心のケアを引き続き進めていきたいと思っています。



## ◇ 新入生体験入学

2月20日（木）、4月から緑丘中学校へ入学してくる6年生を対象にした体験入学を行いました。2年生が企画・運営したプレゼンでは、学校生活の様子や部活動、学校行事の紹介をしました。また、数学の授業体験では、サイコロを振って組み合わせの数について中学生と一緒に学びました。小学校とは違った雰囲気、中学校の授業を体験してもらいました。短い時間でしたが、どの児童も意欲的に参加して、中学校の授業の楽しさに触れることができていたようです。それぞれの小学校の後輩たちを見送る中学生の表情から、充実感や達成感があふれ、ひとまわり成長した姿を見ることができました。



## ◇ JFAこころのプロジェクト「夢の教室」

2月21日（金）に日本サッカー協会が運営する「こころのプロジェクト」により、一流アスリートを講師にお迎えして、夢の教室と題して2年生が授業を受けました。講師の先生は、ハンドボール元日本代表で北國ハニービー石川の監督をされている東 俊介先生でした。前半は体育館でボールを使って体を動かし、後半は多目的室でお話を聞きました。もともと運動が苦手だった先生は、「努力する習慣」を身に付けたことで日本代表に選ばれるまでになったそうです。「努力する習慣」は、スポーツに限らず、すべての成長につながるものだと思います。努力することが当たり前になると夢に近づいていけるということだと思います。東 俊介先生、素敵な夢の授業をありがとうございました。



## 「嘘」について

保護者の皆さんが中学生だった頃を思い出してみてください。小学生時代より行動範囲が広がり、やる事も少し大胆になってひやりとした経験をなさいませんでしたか？ その後でその経験をどなたに話されましたか？ ご自分の中に「誰誰にはどこまで話す」という、ご自分の話す基準があって、それに応じて話す相手を変えていませんか？ ある一定以上の事は自分の親には話さないことがあるのはみなさんも経験済みではないかと思います。

もっと言うと「人は嘘をつきます」。誰でもです。つかない人はいません。子どもに関して発達の観点から云うと、嘘がつけると云うのは「つくりもの＝空想の産物」で、これがいかに現実にあったかのように話すのが嘘です。これはある意味でかなり高等な知的な作業だと云う事が出来ます。

しかし、社会規範を示す立場の「親」としては「嘘をつくな」と云いたくなります。親の責任があるからです。ですが皆さんも幼いころからずっと少しずつ嘘をついてこられました。これも事実です。犯罪に結びつくような嘘は見逃してはなりません、「何を見逃すか」だと思います。

子どもの嘘は見抜けず。だってこちらは経験者ですから。だから子どもの嘘を「嘘だ」と指摘するのを減らして、「そうか」とだけおっしゃって「にやり」とほほ笑んでみてください。子どもはひやりとします。それで十分です。「ばれてるな」と直感的にわかるはず。それが大事です。

子どもは大人になるために自分で判断して行動する練習を少しずつでも始めなければなりません。その為にその子の得意な事だけではなく、親から見たその子の取り柄（自分ではわかりにくいものです）も見つけてあげてください。短所は裏返せば長所になります。例えば「早合点しがち」なのは「ちゃんと押さえるところがわかれば理解が早い」となります。保護者の皆さんの仕事の「ルールを教える」と同時に「経験者として子どもを見る・必要ならば注意する・黙って見逃す余裕を持つ・子どもの取り柄を見つける」作業も増えてくると思います。

中谷智一スクールカウンセラーより

### 第3回学校運営協議会

2月14日（金）に今年度最後の学校運営協議会を行いました。学校からの報告のあと、文科省CSマイスターで福島県檜葉町教育委員会の指導主事をされている猿渡智衛先生を講師にお迎えして、檜葉町（東日本大震災で全町避難した地区）での地域学校協働活動の取組についてお話を聞きました。どのようにして地域コミュニティを再生しようとしてきたか学校と地域の両方の相互利益につながるような活動にはどのようなものがあるのか紹介していただき、とても参考になりました。猿渡先生のお話をもとに、次年度のコミュニティスクールの取組につなげていきたいと思ひます。ご講演ありがとうございました。



### ☆各種表彰☆

#### ○全国読書感想文コンクール

- ・全国学校図書館協議会長賞：梶 風沙
- 献血ポスターコンクール
- ・銅賞：西 ことの 船橋 安寿
- ・佳作：谷内口 心春



### ☆珠洲市スポーツ賞・少年文化表彰☆

#### ○珠洲市スポーツ賞

- ・スポーツ賞：岡田 法華
- ・スポーツ奨励賞（個人）：岡田 朋大 坂東 完 小町 一嘉
- ・スポーツ奨励賞（団体）：野球部



#### ○珠洲市少年文化賞

- ・文化賞：梶 風沙

※スポーツ賞および文化賞については、3月5日（水）16時に  
珠洲市産業センターで表彰式が行われるので参加予定です。

「珠洲市スポーツ賞・市少年文化賞」はスポーツや文化芸術の分野で優秀な成績を残した市民を表彰するものです。本校では、上記の個人5名と野球部が表彰されました。表彰された皆さんおめでとうございます。受賞を機にますます努力を重ねてさらなる活躍を期待いたします。

### 3月14日（金）卒業式の日程

- 9：30～9：45 卒業生・保護者受付
- 9：45～9：50 保護者入場
- 10：00～ 卒業式
- 12：00～ 卒業生見送り



## 3月の行事予定

	日	曜	行 事
	1	土	
	2	日	英検二次試験
	3	月	
	4	火	
	5	水	部活動お別れ会
	6	木	納賞式
	7	金	
	8	土	
	9	日	
	10	月	
	11	火	公立高校学力検査（1日目） 被災者健康保持増進事業
	12	水	公立高校学力検査（2日目） 職員会議
	13	木	卒業式予行
	14	金	卒業式
	15	土	全能登中学校交歓バスケットボール大会田鶴浜大会（田鶴浜体育館）
3月	16	日	全能登中学校交歓バスケットボール大会田鶴浜大会（田鶴浜体育館）
	17	月	
	18	火	R7前期生徒会選挙立会演説会
	19	水	公立高校合格発表（正午） 生徒会委員会
	20	祝	
	21	金	
	22	土	
	23	日	
	24	月	修了式
	25	火	
	26	水	
	27	木	
	28	金	
	29	土	
	30	日	
	31	月	

令和7年度予定

4月7日（月）

始業式・新任式・入学式